

いっしょに遊びを通した学びについて考えませんか！

# 園内研修支援のご案内

福島県教育庁義務教育課

## 園内研修支援って何？

対 象：県内の幼児教育施設

担当者が園を訪問し園内研修に参加します。幼児期の「遊びを通した学び」「架け橋期の教育の充実」について一緒に話し合いませんか。  
※支援にかかる旅費等は不要です。

## どのように申し込むの？

申込方法：電子メール又はFAX

支援を希望する園は「【様式1】支援A 園内研修申込書」を、ふくしま幼児教育研修センター宛に送付してください。※メールの送受信ができない場合は御相談ください。



### 【研修内容の例】

- 「遊びを通した学び」から捉える幼児期に育みたい資質・能力と幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
- 指導計画の作成、評価・改善
- 環境の構成・保育者の援助
- 保育記録・指導要録
- 配慮を必要とする幼児への支援
- 幼小連携
- 架け橋プログラム

### 【研修日程 例①】入替制

午前：参観  
午後：14:00～15:00 研修1  
          15:10～16:10 研修2  
          16:15～16:30 振り返り  
※研修1と2は同内容

### 【研修日程 例②】クラス等別

午前：参観  
午後：12:30～13:30 0～2歳児研修  
          13:40～15:10 3～5歳児研修  
          15:20～16:20 学年主任研修  
          16:20～16:30 振り返り

★その他、各園のニーズに応じた園内研修を支援します！  
内容や時間など、ご相談ください。

午前中は保育参観し、その日の遊びの様子を踏まえて園内研修を行います。

研修日の日程は、園の課題や保育状況等に応じて設定してください。

入替制（同じ内容の研修を2回実施）やクラス等別（未満児と以上児に分けて実施）にすることも可能です。ぜひ、ご相談ください。



## 受講者の声

「保育を頑張ろうと意欲がわいてくる研修だった。」「具体的に教えていただき、すぐにでも実践に活かしていきたい。」等の感想が職員からあがり、研修を活用して良かった。  
【公立保育】

幼小交流活動の進め方について色々な方法があり、柔軟に対応することを改めて見直すよい機会となった。子どもたちの「やりたい」を応援し「できた」の達成感を共に喜ぶことができるようになった。

【公立幼稚園】

子ども主体の保育の重要性をつくづく感じる事ができた。実際に行っている自分たちの保育を振り返りながら、その活動のよさや課題などを話し合えたことがとてもよかった。

【私立保育所】

小学校側からの話もいただいて、幼小連携など学びになることが多くあった。その後、研修でのアドバイスを、色々な場面で実践する姿が見られた。

【私立幼稚園】

子どもへの関わり方が心配だったが、「それで大丈夫。」と言われたことで安心し、自分たちの行っている保育に自信がもてた。

【私立幼保連携型認定こども園】

特別な支援を要する園児の理解やよりよい支援に対する理解が深まり、より一層子どもに寄り添った保育の重要性を認識できた。

【公立幼稚園】

子どもの遊びの中から色々な角度を変えて子どもの姿を読み取っていく必要性を感じた。保育を振り返るよい機会となった。

【私立幼保連携型認定こども園】

研修を利用した園の先生方から、たくさんのご感想をいただきました。わたしたちは3要領・指針に基づき、各園の保育のよさを見つけ、更なる幼児教育の質の向上や幼小架け橋期の充実に向けたアドバイスをさせていただきます。



## お問い合わせ

福島県教育庁義務教育課「ふくしま幼児教育研修センター」  
住所:〒960-0101 福島市瀬上町字五月田16番地(福島県教育センター1階)  
電話:024-554-1808(FAX 兼用)  
e-mail: [youji-gr@fcs.ed.jp](mailto:youji-gr@fcs.ed.jp)

ふくしま幼児教育



申込方法や様式などは、  
こちらからダウンロードし  
てください。

